

成長のたね

<今月の聖句> 「わたしはあなたがたを友と呼ぶ」 (ヨハネ15:15)

「わぁ～楽しかった」「またこんどやろうね」  
暑い盛り、2階のベランダで機械をなおしていた私の背中越しに  
幼児園庭から、うきうきとした子どもたちの声が響いてきた。

いろんな行事が延期や取りやめとなった今夏  
子どもたちからの「楽しかった」はことさら、うれしく感じる。  
いったい何がそんなに「楽しかった」のだろう…  
で、後から聞いたその理由(わけ)は

「園庭の土や汗で汚れた服などを自分たちで洗ってたんです」  
えっ、それだけであんな弾んだ声に？  
大人から見ればごくありふれた日常作業のひとつにすぎない。  
でも、子どもたちにとっては、まったく違う意味をもつ。  
輝く陽ざし。大好きな友達と、水しぶぎに涼しさを感じながら  
「きれいになったね」「ここ、もうちょっと洗おう」「わ、水かかった！」  
いつもと変わらぬ生活だから、子どもたちは安心して不思議や驚きと出会い  
喜びや友情をはぐくんでいける。ここにこそ成長のたねは潜んでいる。  
非日常が社会をおおう今。だからこそ日常がどれほど大切か、身にしみる。

ところで、先月号で紹介した2歳児さんの「その後」をご報告します。  
午前の水遊び中に突然の「訪問者」がありました。それはいったい…  
ぴよこ、ぴよこ、ぴよこ。この音は？  
あんなに会いたくて会いたくて、でも会えなかった、あの心の友。  
カエルさん！ 「こんにちは」と言ったか言わぬかは分からぬけれど  
園舎を大回りして歩いて来た一匹の訪問者にひばりさん、驚いたのなんの。  
2歳の夏の日常生活に贈られた、最高のプレゼントだったこと間違いなし。  
(つくし保育園園長 つだかずお)

<もうすぐ秋、色づき始めるお庭のチャペルで礼拝しよう>  
毎週日曜日午前10時30分 だいで教会